

CWA NEWS



ウィスコンシン州友好使節団来日！



文化・芸術グループ
(香取市交流パーティにて)

去る10月8日(日)から15日(日)までの8日間「文化・芸術」「バイオマス」「学術・教育」の3分野にわたる総勢23名のウィスコンシン州友好使節団が、千葉県を訪問しました。

今回注目すべきは、千葉大学とウィスコンシン大学・ミルウォーキー校との間で『大学間学術交流協定』の調印が行われたことです。かずさDNA研究所とプロメガ社との共同研究契約の調印に引き続き、千葉県とウィスコンシン州の姉妹交流の歴史に新たな1ページが加わりました。

使節団員は、9日(月)銚子市を観光し、地元の観光ガイドボランティアの案内で千葉県が誇る美しい海と自然を満喫したのち、分野毎に公演や視察を行いました。(詳細は、次ページ以降を御覧ください。)

Welcome to CHIBA



バイオマスグループ
(千葉ウィスコンシン友好の塔の前で)

また今回は、香取市、千葉市の皆様の御協力のおかげで、ほぼ全日程を同じホストファミリーにお世話になることができました。日本が初めての使節団員も多く、それぞれホストファミリーと過ごした時間が忘れがたい思い出となったことと思います。

今回の使節団来日により、千葉県とウィスコンシン州の友好の輪がまた広がりました。使節団の相互派遣を通じて、来年、再来年とさらに友好の輪を県内各地に広げていきます。



学術・教育グループ(千葉大学の学生さんと一緒に)

Academic Research 学術・教育



昨年秋、千葉県友好使節団の一員として千葉大学の阿部名誉教授と教育学部の磯崎教授がウィスコンシン州を訪問し、ウィスコンシン大学ミルウォーキー校のチェン副学長をはじめ同大学の主要メンバーと歓談する機会を持ちました。この訪問をきっかけとして、両大学の間で提携に向けた意見交換がメールで重ねられ、今回、ウィスコンシン友好使節団の一員としてチェン副学長他が来日し、『大学間学術交流協定』が調印される運びとなりました。

調印式は10月10日(火) 17:30より千葉大学けやき会館にて、ウィスコンシン大学ミルウォーキー校のチェン副学長とプラサド経済学部長、千葉大学の古在学長、堂本知事等



の出席を得て行われました。今回の訪問で、チェン副学長をはじめとする学術・教育グループのメンバーは、千葉大学のような学部を視察し、両大学間のさらなる交流拡大へ大きな手応えを感じたようです。

さらに一行は、10月12日(木)に神田外語大学を訪問し、マジソン地域工科大学の英語科講師パーネル氏と神田外語大学との間で、今後の大学間交流について意見交換会を行いました。こちらも新たな大学間交流の始まりを予感させる充実した内容となり、今後、両県州の大学間の連携の益々の発展が期待されます。

学術・教育グループ

リタ チェン Rita Cheng	ウィスコンシン大学 ミルウォーキー校副学長
トム チェン Tom Cheng	A Pied Manufacturing, INC Retired president
カンティ プラサド Kanti Prasad	ウィスコンシン大学 ミルウォーキー校経済学部長
サラダ プラサド Sarada Prasad	ウィスコンシンカレッジ (ビジネス専門)教授
アンナ パーネル Anna Purnell	マジソン地域工科大学 講師

事務局：ウィスコンシン千葉委員会

ジョージ スーグロス George T. Tzougros	宮崎 久 Hisashi Miyazaki
----------------------------------	--------------------------



千葉大学教育学部附属小学校での一コマ



調印後の記念撮影 (左から、堂本知事・チェン副学長・古在学長、プラサド経済学部長)



千葉大学看護学部の視察



神田外語大学での情報交換の様子

主な視察先等

- 10/10(火) 午前: 千葉大学医学部・看護学部
午後: 千葉大学法経学部 調印式
- 10/11(水) 午前: 千葉大学教育学部 見浜園
午後: 千葉大学教育学部附属小学校
- 10/12(木) 神田外語大学



見浜園・松籟亭にて (千葉市)

Culture/Art 文化・芸術

文化・芸術グループは、香取市・与倉屋大土蔵での公演を皮切りに、11日(水)、12日(木)の2日間にわたり、香取市内の小・中学校を訪問し、交流を深めました。

『Yid Vicious』はクレツマーと呼ばれるユダヤ系の音楽を演奏するバンドです。どこか懐かしく、それでいて陽気な音楽に合わせ、生徒全員が楽しそうに生き生きと体を動かす姿が、どの学校でも見受けられました。また、11歳とは思えないアリエラちゃんのピアノ演奏は素晴らしく、同世代ということもあって生徒の皆さんには大人気でした。

各学校では全校を挙げて使節団を迎えていただき、生徒の皆さんによる歓迎の歌や演奏はもちろんのこと、お習字の体験や、生徒と一緒に教室でいただいた給食など、どれも使節団員にとっては思い出に残る体験だったと思います。また、13日(金)には、ホストファミリーと一緒に『佐原の大祭』を楽しみ、使節団員それぞれが素晴らしい思い出を作ることができました。

文化・芸術グループ

クレツマーバンド Yid Vicious	ウィリアム ソロモン William Solomon
マイケル ポレー Michael Pollay	ジェフェリー ブレーディ Geoffery Brady
キア カレン Kia Karlen	グレッグ スミス Greg Smith
デイビッド ウォルフ David Wolfe	メリッサ レイザー Melissa Reiser

アリエラ ダニエル ボラッド Ariela Danielle Bohrod	ピアニスト
ルースアン ベスマン Ruthanne Bessman	ラジオ番組 ディレクター 折紙講師

事務局：ウイスコンシン千葉委員会

宮崎 文子 Fumiko Miyazaki	シャーロン ダートカ Sharon R. L. Durtka
リチャード マーチ Richard March	



Yid Vicious による演奏 (与倉屋大土蔵)



音楽に合わせて踊る子供達 (津宮小学校)



ちょっとドキドキ(?)の給食体験 (東大戸小学校)



小さなピアニスト・アリエラちゃんはどこでも大人気



主な公演先

- 10/10(火) 午後: 与倉屋土蔵
- 10/11(水) 午前: 津宮小学校 / 午後: 香取中学校
- 10/12(木) 午前: 東大戸小学校 / 午後: 佐原第五中学校

Biomass バイオマス

昨年秋に、千葉県友好使節団がウィスコンシン州を訪問した際、バイオマス関係の工場や農場における取り組み等を中心になって案内してくださった州政府職員の Beng Yeap さんを始め、ミルウォーキー市下水道汚泥の肥料化に携わっている職員や、バイオマス関係の技術者がウィスコンシン州友好使節団のメンバーとして千葉県を訪問しました。

滞在中は、千葉県のバイオマスの取り組みを視察すると共に、ワークショップを通じてバイオマスに関する情報交換を行いました。また、11日(水)には、幕張メッセで開催された「再生可能エネルギー2006 国際会議」に参加したほか、同時開催の「第1回新エネルギー世界展示会」を視察し、専門家との意見交換を行いました。

バイオマス視察グループ

ジョー セルマー Joe Celmer	製紙工場 技術監督
マイク アーチャー Mike Archer	ミルウォーキー市下水道汚泥の再資源化企業 市場開発責任者
ブルース パラモア Bruce Bullamore	リッチランド郡経済開発公社 常務取締役

事務局：ウィスコンシン千葉委員会

ベン ヤップ Beng Yeap	ウィスコンシン千葉委員会 技術委員長
---------------------	-----------------------

視察先等

10/10(火)	山田バイオマスプラント 視察 (香取市) ワークショップ (香取市役所山田区事務所会議室)
10/11(水)	再生可能エネルギー2006 国際会議 参加 第1回新エネルギー世界展示会 視察 (幕張メッセ)
10/12(木)	(株)かずさクリーンシステム 視察 (木更津市) (株)荏原製作所 視察 (袖ヶ浦市)
10/13(金)	サッポロビール千葉工場 視察 (船橋市) ジャパン・リサイクル(株) 視察 (千葉市)



山田バイオマスプラント(香取市)



東京大学・望月客員助教授からの情報提供



荏原製作所・両角所長から英語による説明



第1回新エネルギー世界展示会にて



サッポロビール・メタン発酵施設

ウィスコンシン千葉委員会・ジョージ委員長からのメッセージ

My host father, Mr. Shiratori, summed up the 2006 Wisconsin Goodwill Delegation's trip with one phrase. "We will make memories." The Chiba Wisconsin Association made beautiful, lasting memories for us, from the Welcome Party to the Farewell Party.

The sharing of cultures remained the heart of our exchange. We will not soon forget the students listening to the music of Ariela Bohrod and Rick March and dancing to the music of Yid Vicious. The Sawara Matsuri Festival was a feast for the eyes and the spirit!

The biomass delegates had the opportunity to do site visits to corporations, attend the Renewable Energy conference, and share ideas.

The academic delegates signed an historic agreement between Chiba University and the University of Wisconsin-Milwaukee. We were so pleased that Governor Akiko Domoto was on hand to witness this important event. Tours of the Medical School, Nursing School, Faculty of Law and Economics, and Faculty of Education showed that there are many opportunities for collaborations and exchanges. A tour of Kanda University added exciting possibilities to the potential for exchange!

The most important memory makers were the home stay families because they took total strangers into their homes for five days. In some cases, they were unable to converse in a common language, but by the time they left these strangers felt like part of the family. Special thanks are due to the Sawara International Friendship Association for their work in coordinating the home stays.

We have so many people to thank! First and foremost the members of the Chiba Wisconsin Association for their hard work in coordinating the three groups of this delegation. Others who are due our gratitude are the mayors and people of Choshi City, Sawara and Katori City, the schools that hosted the cultural delegates, the companies that accepted the biomass delegates as well as the faculty, staffs, and students of Chiba University and Kanda University.

The members of the delegation were heard to say that this trip was a life altering experience. It was life altering because of the kindness and generosity of the people of the Chiba prefecture, the beauty of the natural surroundings, and the richness of the Japanese culture.

Making these memories added new friends to the circle of friendship between Wisconsin and the Chiba Prefecture. It was a joy to watch this circle grow.

We look forward to welcoming a Chiba Goodwill Delegation to Wisconsin next year! We will again make memories!

George

2006年ウィスコンシン友好使節団の旅は、私のホストファミリーである白鳥さんの言葉：「思い出を作りましょう。」に集約されています。千葉ウィスコンシン協会は私たちのためにウェルカムパーティーからフェアウェルパーティーまで、素晴らしい思い出がたい思い出を作ってくださいました。

お互いの文化を共有することが私たちの交流の真髄でした。私たちは学生さん達がアリエラボーラッドやリックマーチの音楽を聴いてくれたこと、イッドゥヴィシアスの音楽に合わせて踊ってくれたことを忘れないでしょう。また、佐原祭りは目にも心にも正にお祭りでした。

バイオマスグループは会社訪問や再生可能エネルギー会議に出席し意見交換の機会を得ました。

教育・学術グループは千葉大学とウィスコンシン大学ミルウォーキー校との歴史的な学校間協定締結の調印をいたしました。堂本暁子知事にこの重要な行事にご臨席いただきましたことを私たちは大変嬉しく思っております。医学部、看護学部、法経学部、教育学部訪問により今後様々な共同研究と交流の機会があるということが分かりました。また神田外語大学訪問によりさらなる交流の可能性が加わりました。

中でも一番大切な思い出は、全く他人である私たちを五日間もご自宅に招いてくださったホストファミリーです。時には、言葉がうまく通じないこともありましたが、お別れの時までには私たち他人を家族の一員のように思ってくださいました。このホームステイを準備していただきました佐原国際交流協会には特別の感謝を申し上げます。

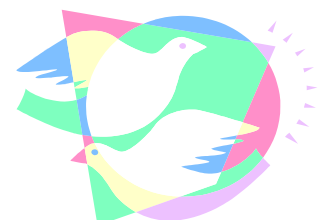
私達は感謝すべき多くの方々がいっぱいいます。何よりもまず、今回の使節団の三つのグループのために準備をしていただきました千葉ウィスコンシン協会の皆様、文化・芸術グループを受け入れてくださいました銚子市と香取市の市長や皆様と学校、バイオマスグループを受け入れてくださいました企業、そして千葉大学と神田外語大学の教職員や学生の皆様です。

使節団員から今回の旅行はそれぞれの人生を変えるような経験であったと聞いています。それは、千葉県の人々の親切さ、寛容さ、自然環境の美しさ、そして日本文化の豊かさのなせることだと思います。

こうした思い出のおかげでウィスコンシン州と千葉県との友情の輪にまた新たな友人が加わりました。この輪が成長するのを見ることは私にとって喜びでした。

私たちは来年千葉友好使節団をウィスコンシン州にお招きするのを楽しみにしております。また思い出を作りましょう！

ジョージ





使節団滞在中の写真はCWAホームページでも御覧いただけます。
アドレス: <http://www.chiba-wisconsin.jp/>

【編集後記】今号はウィスコンシン州友好使節団来日特集号です。前回受け入れ時よりもさらに交流内容が充実し、紙面も創刊以来初めての6ページ構成となりました。本紙に負けず劣らず、ホストファミリーを始め皆様の胸にも沢山の素敵な思い出が溢れていることでしょう！
(Nao)

発行所: 千葉ウィスコンシン協会

発行人: 森山茂男 編集人: 榊田直美

<http://www.chiba-wisconsin.jp/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBG マリブイースト 14 階
(財) ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ 043-223-2436(千葉県政策推進室)